

SC1

あなたの性別は次のうちどれですか。

- 男性
- 女性

次へ

0

50

100(%)

SC2

あなたの年齢をお答えください。

歳

次へ

0

50

100(%)

SC3

あなたが現在、居住している地域を教えてください。

 ▼

次へ

0

50

100(%)

SC4

現在、あなたが従事している収入を伴う仕事の状況は次のうちどれですか。

※「仕事」とは収入を伴う仕事すべてを指し、いわゆるアルバイトやパートなどでの仕事も含まれます。

※育児休業や介護休業などのため仕事を一時的に休んでいる場合は「仕事をしている」とします。

- 仕事をおもにしている
- 家事がおもで仕事もしている
- 通学がおもで仕事もしている
- 家事・通学以外のことがおもで仕事もしている
- 仕事をしていない

次へ

0

50

100(%)

SC5

あなたが現在従事している主な仕事の就労形態(勤め先での呼称)は次のうちどれですか。

※「主な仕事」とは、収入を伴う仕事であって、複数の勤め先がある場合、労働時間が最も長い勤め先での仕事を指します。

- 雇われている人のうち 正社員
- 雇われている人のうち パート
- 雇われている人のうち アルバイト
- 雇われている人のうち 労働者派遣事業所の派遣社員
- 雇われている人のうち 契約社員
- 雇われている人のうち 嘱託
- 雇われている人のうち その他
- 会社などの役員
- 自営業主
- 自家営業の手伝い
- 内職

次へ

0

50

100(%)

SC6_1

あなたが現在従事している主な仕事でのふだんの週あたりの所定労働時間(残業時間・休憩時間を含まない。契約等で定められた労働時間。)は次のうちどれですか。

シフト制の場合は、勤務実績に基づいた平均の所定労働時間でお答えいただき、SC6_2で「シフト制である」を選んでください。

※「主な仕事」とは、収入を伴う仕事であって、複数の勤め先がある場合、労働時間が最も長い勤め先での仕事を指します。

※「シフト制」とは、労働契約の締結時点では労働日や労働時間を確定的に定めず、一定期間(1週間、1か月など)ごとに作成される勤務シフトなどで、初めて具体的な労働日や労働時間が確定するような勤務形態を指します。

ただし、三交替勤務のような、年や月などの一定期間における労働日数や労働時間数は決まっていて、就業規則等に定められた勤務時間のパターンを組み合わせる勤務する形態は除きます。

- 週5時間未満
- 週5時間以上10時間未満
- 週10時間以上15時間未満
- 週15時間以上20時間未満
- 週20時間以上

SC6_2

あなたが現在従事している主な仕事がシフト制の場合、以下を選んでください。

- シフト制である

次へ

0 50 100(%)

SC7

あなたは現在、雇用保険に加入していますか。

- 加入している
- 加入していない
- わからない

次へ

0

50

100(%)

このアンケート調査は、独立行政法人労働政策研究・研修機構(JILPT)の依頼により実施しています。あなたの世帯の状況、仕事の状況などについてお聞きし、調査結果については基礎資料として厚生労働施策に資することを目的として実施するものです。ご回答はすべて統計的に処理されますので、個人が特定されることはありません。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

次へ

0

50

100(%)

<あなたの世帯の状況について>

Q1

あなたの現在の婚姻関係は次のうちどれですか。

- 既婚(配偶者がいる、事実婚含む)
- 未婚(配偶者はいない)
- 離婚・死別(配偶者はいない)

次へ

0

50

100(%)

Q2

あなたは現在、だれかと同居していますか。

同居している人を次の中からすべてお選びください。 (いくつでも)

※「同居している」とは、同一生計で同じ住居に住んでいることをいいます。

- 配偶者(事実婚含む)
- 子ども
- 親(配偶者の親を含む)
- 兄弟姉妹(配偶者の兄弟姉妹を含む)
- その他
- 同居していない

次へ

0

50

100(%)

Q3

子どもと同居している方にお伺いします。

Q3_1

同居している子どもの人数をお答えください。

同居している子どもの人数 人

Q3_2

末子について、あてはまる年齢、学齢をお答えください。
子どもがお一人の場合は、「**末子**」としてお答えください。

- 未就学児
- 小学生
- 中学生
- 中学卒業～18歳未満(学生)
- 中学卒業～18歳未満(学生ではない)
- 18歳以上(学生)
- 18歳以上(学生ではない)

次へ

0

50

100(%)

Q4_1

あなた自身の平均的な1か月当たりの収入として当てはまるものをお答えください。

※収入には、賃金によるもののほか、年金や事業所得、別居の家族から受けている仕送りなども含みます。

※賃金は税・社会保険料控除前を計上してください。

また、賞与(ボーナス)の支給を受けられている場合は、その分も1か月当たりに換算して含めてください。

- 2.5万円未満
- 2.5万円以上5万円未満
- 5万円以上7.5万円未満
- 7.5万円以上10万円未満
- 10万円以上12.5万円未満
- 12.5万円以上15万円未満
- 15万円以上17.5万円未満
- 17.5万円以上20万円未満
- 20万円以上22.5万円未満
- 22.5万円以上25万円未満
- 25万円以上

次へ

0

50

100(%)

Q4_2

このうち、現在の主な仕事の平均的な1か月当たりの賃金(税・保険料控除前)として当てはまるものをお答えください。

※「主な仕事」とは、収入を伴う仕事であって、複数の勤め先がある場合、労働時間が最も長い勤め先での仕事を指します。

※賞与(ボーナス)の支給を受けられている場合は、その分も1か月当たりに換算して含めてください。

- 2.5万円未満
- 2.5万円以上5万円未満
- 5万円以上7.5万円未満
- 7.5万円以上10万円未満
- 10万円以上12.5万円未満
- 12.5万円以上15万円未満
- 15万円以上17.5万円未満
- 17.5万円以上20万円未満
- 20万円以上22.5万円未満
- 22.5万円以上25万円未満
- 25万円以上

次へ

0

50

100(%)

Q4_3

あなた自身の収入で、現在の主な仕事の賃金以外のものとして当てはまるものをお答えください。(いくつでも)

※「主な仕事」とは、収入を伴う仕事であって、複数の勤め先がある場合、労働時間が最も長い勤め先での仕事を指します。

- 主な仕事の賃金以外の収入はない(副業はしていない)
- 主な仕事以外の仕事(雇われているもの)による賃金(副業をしている)
- 主な仕事以外の仕事(自営業、内職等)による事業所得(副業をしている)
- 仕送り
- 年金(公的年金・恩給、企業年金・個人年金等)
- 児童手当等の児童に関する社会保障給付金
- その他の社会保障給付金
- 預貯金、公社債、株式などから得られる利子、配当金等
- その他

次へ

0

50

100(%)

Q5

あなたの現在の主な仕事の賃金は、主にどのようなことに使われていますか。

※「主な仕事」とは、収入を伴う仕事であって、複数の勤め先がある場合、労働時間が最も長い勤め先での仕事を指します。

- 消費(生活上必須の物・サービス)
- 消費(趣味、娯楽)
- 貯蓄(預貯金)
- その他(投資、借金の返済等)

次へ

0

50

100(%)

Q6_1

あなたの世帯全体の1か月当たりの収入として当てはまるものをお答えください。

※「世帯」とは、住居と生計を共にしている者の集まりをいいます。

※「収入」には、賃金によるもののほか、年金や事業所得、別居の家族から受けている仕送りなども含みます。

- 10万円未満
- 10万円以上20万円未満
- 20万円以上30万円未満
- 30万円以上40万円未満
- 40万円以上50万円未満
- 50万円以上60万円未満
- 60万円以上70万円未満
- 70万円以上80万円未満
- 80万円以上90万円未満
- 90万円以上100万円未満
- 100万円以上
- わからない

次へ

0

50

100(%)

Q6_2

あなたの世帯全体の収入のうち、あなたの主な仕事による賃金が占める割合はどれくらいになりますか。

※「世帯」とは、住居と生計を共にしている者の集まりをいいます。

※「収入」には、賃金によるもののほか、年金や事業所得、別居の家族から受けている仕送りなども含みます。

※「主な仕事」とは、収入を伴う仕事であって、複数の勤め先がある場合、労働時間が最も長い勤め先での仕事を指します。

- 10%未満
- 10%以上20%未満
- 20%以上30%未満
- 30%以上40%未満
- 40%以上50%未満
- 50%以上60%未満
- 60%以上70%未満
- 70%以上80%未満
- 80%以上90%未満
- 90%以上
- わからない

次へ

0

50

100(%)

Q7

あなたの世帯で収入が最も多い方はどなたですか。

※「世帯」とは、住居と生計を共にしている者の集まりをいいます。

※「収入」には、賃金によるもののほか、年金や事業所得、別居の家族から受けている仕送りなども含みます。

- 自分
- 配偶者(事実婚含む)
- 親(配偶者の親を含む)
- 子ども
- その他

次へ

0

50

100(%)

<あなたの就労の状況について>

※ここからは、あなたの主な仕事に関することを中心にお尋ねします。
 「主な仕事」とは、収入を伴う仕事であって、複数の勤め先がある場合、労働時間が最も長い勤め先での仕事を指すものとしてお答えください。

Q8

主な仕事をしている勤め先の業種は何ですか。

派遣社員の方は派遣先の会社についてお答えください。

※例示をご覧ください、いちばん近いと思われる業種をお答えください。

- 農業、林業
(耕作農業、畜産農業、園芸サービス業、育林業、素材生産業など)
- 漁業
(海面漁業、内水面漁業、水産養殖業など)
- 鉱業、採石業、砂利採取業
(金属鉱業、石炭鉱業、原油・天然ガス鉱業、採石業、砂・砂利・玉石採取業、窯業原料用鉱物鉱業など)
- 建設業
(総合工事業、とび工事業、大工工事業、塗装工事業、内装工事業、電気工事業など)
- 製造業
(食料品製造業、繊維工業、木材・木製品製造業、印刷業、化学工業、鉄鋼業、金属製品製造業、機械器具製造業、電子部品製造業など)
- 電気・ガス・熱供給・水道業
(電力会社、ガス会社、水道局、下水道局、下水処理場、地域暖冷房業など)
- 情報通信業
(通信業、放送業、ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、インターネット附随サービス業、映像情報制作・配給業、新聞業、出版業など)
- 運輸業、郵便業
(鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、倉庫業、こん包業、自動車道業、郵便業など)
- 卸売業、小売業
(貿易商社、食料品卸売業、機械器具卸売業、再生資源卸売業、百貨店、酒店、コンビニエンスストア、自動車小売業、薬局、書店、ガソリンスタンド、新聞販売店、通信販売・訪問販売小売業、自動販売機による小売業など)
- 金融業、保険業
(銀行、信用金庫、農協(金融上の便益を供することを専業とする事業所)、貸金業、質屋、クレジットカード業、証券業、生命保険業、損害保険業、農業共済組合、保険代理店など)
- 不動産業、物品賃貸業
(不動産取引業、不動産賃貸業、駐車場業、不動産管理業、リース業、レンタカー業、DVD賃貸業、貸衣装業など)
- 学術研究、専門・技術サービス業
(学術・開発研究機関、法律事務所、デザイン業、経営コンサルタント業、翻訳業、広告業、獣医業、建築設計業、測量業、機械設計業、写真業など)

- 宿泊業、飲食サービス業
(宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業)

- 生活関連サービス業、娯楽業
(洗濯・理容・美容・浴場業、旅行業、冠婚葬祭業、コインロッカー業、映画館、劇団、ゴルフ場、フィットネスクラブ、遊園地、パチンコホール、カラオケボックスなど)
- 教育、学習支援業
(幼稚園、学校、図書館、博物館、動物園、職業訓練施設、学習塾、音楽教授業、スイミングスクール、パソコン教室など)
- 医療、福祉
(病院、歯科診療所、療術業、歯科技工所、保健所、健康相談施設、消毒業、社会保険事業団体、福祉事務所、保育所、老人福祉・介護事業、障害者福祉施設など)
- 複合サービス事業
(郵便局、農林水産業協同組合(他に分類されないもの)、事業協同組合(他に分類されないもの))
- サービス業(他に分類されないもの)
(廃棄物処理業、自動車整備業、機械修理業、職業紹介・労働者派遣業、ビルメンテナンス業、警備業、コールセンター業、政治・経済・文化団体、宗教団体など)
- 公務(他に分類されるものを除く)
(国会、裁判所、中央官庁及びその地方支分部局、都道府県庁、市区役所、町役場など(他に分類されないもの))

次へ

0

50

100(%)

Q9

主な仕事をしている勤め先の(すべての事業所を合算した)企業全体の従業員数はどのくらいですか。

派遣社員の方は派遣元の会社についてお答えください。

- 1～4人
- 5～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1,000人以上
- わからない

次へ

0

50

100(%)

Q10

主な仕事における、仕事の内容(職種)は何ですか。

※例示をご覧いただき、いちばん近いと思われる仕事の内容(職種)をお答えください。

- 管理的な仕事
(部長、課長、支店長、工場長、駅長など)
- 専門的・技術的な仕事
(研究者、製造技術者、建築・土木・測量技術者、システム設計者、プログラマー、医師、薬剤師、看護師、准看護師、歯科衛生士、あん摩マッサージ指圧師、栄養士、福祉施設指導専門員、保育士、介護支援専門員、司法書士、税理士、教員、宗教家、記者、編集者、デザイナー、映像撮影者、舞台芸術家、図書館司書、個人教師、通信機器操作従事者、速記者など)
- 事務的な仕事
(一般事務員、コールセンターオペレーター、預貯金窓口事務員、旅行会社カウンター係、集金人、統計調査員、メーター検針員、駅務員、有料道路料金收受員、郵便内務員、キーパンチャーなど)
- 販売の仕事
(小売店長、卸売店長、販売店員、レジ係、列車内販売員、商品仕入外交員、不動産仲介・売買人、質屋店員、営業職業従事者、保険外交員、銀行外交員、新聞拡張員など)
- サービスの仕事
(介護職員、ホームヘルパー、看護助手、歯科助手、理容・美容師、浴場従事者、クリーニング職、調理人、飲食店フロア係、ホテル接客係、劇場・野球場・遊園地・美術館等接客員、マンション・ビル・駐車場管理人、ツアーコンダクター、レンタルショップ店員、ピラ配り人、占い師など)
- 保安の仕事
(消防員、守衛、警備員、交通管理パトロール員、建設現場誘導員、プール・海水浴場監視員など)
- 農林漁業の仕事
(農耕従事者、家畜飼育者、動物園飼育係員、植木職、造園師、林業従事者、漁業従事者、水族館養魚作業員など)
- 生産工程の仕事
(生産設備制御・監視従事者、製品製造・加工処理従事者、印刷・製本従事者、機械組立従事者、機械整備・修理従事者、製品検査従事者、塗装工、アニメーター、製図工など)
- 輸送・機械運転の仕事
(鉄道・バス・タクシー・貨物自動車運転者、運転代行者、航空機操縦士、車掌、信号係、船舶甲板員・機関員、フォークリフト運転者、発電員、変電員、ボイラー・オペレーター、クレーン・ウインチ運転従事者、ごみ焼却設備操作員など)
- 建設・採掘の仕事
(型枠大工、とび職、鉄筋工、大工、ブロック積・タイル張従事者、屋根ふき従事者、左官、畳職、配管従事者、電気工事従事者、土木作業従事者、坑内採鉱員、石切工、砂利採取員など)
- 運搬・清掃・包装等の仕事
(郵便・電報外務員、船内・沿岸荷役従事者、陸上荷役・運搬従事者、倉庫作業従事者、配達員、荷造従事者、清掃従事者、ごみ収集作業員、包装従事者、工場軽作業員、公園草取作業員、学校用務員、貨物自動車助手、皿洗い人など)

次へ

調査シリーズNo.247

0

50

100(%)

Q11

主な仕事における、ふだんの週当たりの残業時間をお答えください。

- 週5時間未満
- 週5時間以上10時間未満
- 週10時間以上15時間未満
- 週15時間以上20時間未満
- 週20時間以上
- 残業はない

次へ

0

50

100(%)

Q12

主な仕事をしている勤め先での1週間の出勤日数(契約等で定められたもの)をお答えください。

シフト制の場合も、勤務実績に基づいた1週間の平均の日数でお答えください。

- 1日
- 2日
- 3日
- 4日
- 5日
- 6日
- 7日

次へ

0 50 100(%)

Q13_1

主な仕事をしている勤め先と結んでいる雇用契約において、雇用契約期間の定めはありますか。

- 定めがない(定年までの雇用を含む)
- 定めがある
- わからない

次へ

0

50

100(%)

Q13_2

雇用契約期間の定めがある場合は、現時点で結んでいる雇用契約に定められた雇用契約期間をお答えください。

- 1か月未満
- 1か月以上3か月以下
- 3か月超6か月以下
- 6か月超1年以下
- 1年超3年以下
- 3年超5年以下
- 5年超
- 期間がわからない

次へ

0

50

100(%)

Q14

主な仕事をしている勤め先の勤続年数はどれくらいですか。

- 6か月以下
- 6か月超1年以下
- 1年超2年以下
- 2年超3年以下
- 3年超4年以下
- 4年超5年以下
- 5年超10年以下
- 10年超15年以下
- 15年超20年以下
- 20年超

次へ

0

50

100(%)

Q15

主な仕事について、所定労働時間が週20時間未満であるとお答えいただきましたが、このような短時間勤務をされている理由をお答えください。(いくつでも)

- 自分の都合のよい時間(日)に働くことができるから
- 家庭の事情(育児・介護等)で働ける時間が限られているから
- 就業調整ができるから
※「就業調整」とは、税や社会保険等を意識して、収入を一定の金額に抑えるために就業時間や日数を調整することを指します。
- 長時間働くことが体力的に厳しいから
- 希望する仕事内容や勤務地等で選んだ仕事が、たまたま短時間での勤務だったから
- 定年退職した後に再雇用された際の労働条件が短時間勤務となっていたから
- フルタイムで働くことを希望していたが採用されなかったから
- 副業できるから
- その他

次へ

0

50

100(%)

Q16

今後、主な仕事として、現状のような短時間勤務ではなくフルタイムで働きたいという希望はありますか。

- ある
- ない

次へ

0

50

100(%)

Q17

60歳未満の方にお伺いします。

この先、主な仕事をしている勤め先での仕事を続け、60歳以後も継続していきたいと思われていますか。

- 60歳以後も継続していきたい
- どちらかというとも60歳以後も継続していきたい
- どちらかというとも60歳以後は継続したくない
- 60歳以後は継続したくない

次へ

0

50

100(%)

Q18

主な仕事をしている勤め先に入職した時の経路(あっせん機関等)についてお答えください。

派遣社員の方は派遣元の会社についてお答えください。

- 公共職業安定所(ハローワーク)
- ハローワークインターネットサービス
- 民営職業紹介所(学校を除く)
- 学校(専修学校等も含む)
- 前の会社
- 出向
- 出向先からの復帰
- 縁故(友人・知人等も含む)
- 広告(求人情報誌・インターネット等も含む)
- その他

次へ

0

50

100(%)

Q19_1

主な仕事において、就業調整を行っていますか。

※「就業調整」とは、税や社会保険等を意識して、収入を一定の金額に抑えるために就業時間や日数を調整することを指します。

- 行っている
- 行っていない

次へ

0

50

100(%)

Q19_2

就業調整を行っている場合、その理由をお答えください。(いくつでも)

- 自分の所得税の非課税限度額を超えないようにするため
- 配偶者の税制上の配偶者控除又は配偶者特別控除が適用されるようにするため
- 配偶者手当の支給基準を満たすようにするため
- 配偶者の健康保険、厚生年金保険の被扶養者からはずれないようにするため
- 雇用保険、健康保険、厚生年金保険の保険料を払わないですむようにしたいため
- 会社の都合により雇用保険、健康保険、厚生年金保険の加入要件に該当しないようにしているため
- 現在、支給されている年金の減額率を抑える又は減額を避けるため
- その他

次へ

0

50

100(%)

<副業について>

Q20

あなたは主な仕事以外に、収入を伴う仕事(副業)をしていますか。

- している
- していない

次へ

0

50

100(%)

<副業について>

以下は、副業をされている方(Q4_3で「主な仕事以外の仕事(雇われているもの)による賃金」、「主な仕事以外の仕事(自営業、内職等)による事業所得」を選択された方)に副業についてお聞きします。

Q21

現在行われている副業の数をお答えください。

- 1つ
- 2つ
- 3つ
- 4つ以上

次へ

0

50

100(%)

Q22

現在行われている副業における就労形態(勤め先での呼称)をお答えください。

(それぞれひとつずつ)

Q22

現在行われている副業における就労形態(勤め先での呼称)をお答えください。

副業が3つ以上の方は収入の多い順の3つについてお答えください。

(それぞれひとつずつ)

	1	2	3
	副 業 1 つ 目	副 業 2 つ 目	副 業 3 つ 目
雇われている人のうち 正社員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
雇われている人のうち パート	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
雇われている人のうち アルバイト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
雇われている人のうち 労働者派遣事業所の派遣社員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
雇われている人のうち 契約社員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
雇われている人のうち 嘱託	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
雇われている人のうち その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
会社などの役員	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自営業主のうち 雇い人あり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自営業主のうち 雇い人なし (個人で業務を請け負い、いわゆるフリーランス的な働き方をする方も含まれます)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自家営業の手伝い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
内職	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	副 業 1 つ 目	副 業 2 つ 目	副 業 3 つ 目
	1	2	3

次へ

Q23

あなたが副業をしている理由をお答えください。(いくつでも)

- 1つの仕事だけでは生活自体が営めないから
- 1つの仕事だけでも生活は可能であるものの、より多く稼ぎたいから
- 自身のキャリア形成を見据えて必要と考えるから
- 自身がスキルアップをしたいから
- 副業の内容が楽しいから、好きだから
- その他

次へ

0

50

100(%)

<過去の就業経験等 について>

Q24

現在の主な仕事につく前の、収入を伴う仕事の経験についてお答えください。
仕事の経験が複数ある場合、一度でも雇用者の経験があれば選択肢「雇用者として仕事をしていたことがある」をお選びください。

※「雇用者」とは雇われて働く者をいい、正社員、パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれることがあります。

一方、役員や自営業、自家営業の手伝いなどは雇用者には該当しません。

- 雇用者として仕事をしていたことがある
- 雇用者以外として仕事をしていたことがある(雇用者の経験はない)
- 仕事をしていたことはない

次へ

0

50

100(%)

Q25

これまでどのくらい主な仕事の勤め先を変わられていますか。

現在の主な仕事をしている勤め先への転職をふくめてお答えください。

※雇われて働いた勤め先についてのみカウントし、自営業などは含めないでください。

- 1回
- 2回
- 3回
- 4回
- 5回
- 6回以上

次へ

0

50

100(%)

Q26

これまで雇用者としてフルタイムで勤務されたことはありますか。

※「雇用者」とは雇われて働く者をいいます。

- ある
- ない

次へ

0

50

100(%)

Q27

現在の主な仕事につく前の、直近の雇用者としての勤め先におけるふだんの週当たりの所定労働時間はどれくらいでしたか。

※「雇用者」とは雇われて働く者をいいます。

- 週5時間未満
- 週5時間以上10時間未満
- 週10時間以上15時間未満
- 週15時間以上20時間未満
- 週20時間以上

次へ

0

50

100(%)

Q28

現在の主な仕事につく前の、直近の雇用者としての勤め先における勤続年数はどれくらいでしたか。

※「雇用者」とは雇われて働く者をいいます。

- 6か月以下
- 6か月超1年以下
- 1年超2年以下
- 2年超3年以下
- 3年超4年以下
- 4年超5年以下
- 5年超10年以下
- 10年超15年以下
- 15年超20年以下
- 20年超

次へ

0

50

100(%)

Q29

現在の主な仕事につく前の、直近の雇用者としての勤め先における就労形態(勤め先での呼称)をお答えください。

※「雇用者」とは雇われて働く者をいいます。

- 正社員
- パート
- アルバイト
- 労働者派遣事業所の派遣社員
- 契約社員
- 嘱託
- その他

次へ

0

50

100(%)

Q30

現在の主な仕事につく前の、直近の雇用者としての勤め先をやめた理由をお答えください。(いくつでも)

※「雇用者」とは雇われて働く者をいいます。

- 会社倒産・事業所閉鎖のため
- 人員整理・勧奨退職のため
- 事業不振や先行き不安のため
- 定年のため
- 雇用契約の満了のため
- 収入が少なかったため
- 労働条件が悪かったため
- 結婚のため
- 出産・育児のため
- 介護・看護のため
- 病気・高齢のため
- 自分に向かない仕事だった
- 一時的についた仕事だから
- 家族の転職・転勤又は事業所の移転のため
- その他

次へ

0

50

100(%)

Q31

現在の主な仕事につく前の、直近の雇用者としての勤め先をやめてから、現在の主な仕事の勤め先に入職するまでの期間はどのくらいでしたか。

※「雇用者」とは雇われて働く者をいいます。

- 1か月未満
- 1か月以上3か月未満
- 3か月以上6か月未満
- 6か月以上1年未満
- 1年以上2年未満
- 2年以上

次へ

0

50

100(%)

<雇用保険制度等について>

Q32

あなたは今の働き方を変えずに雇用保険に加入できるとすれば加入したいと思いますか。

※雇用保険制度は、労働者と事業主が保険料を負担すること(労働者の負担は賃金の0.6%・2023年度)で、一定の要件を満たした場合に失業給付や教育訓練給付、育児休業給付などの給付を受けることができる仕組みです。

※現在、雇用保険に加入しているかどうかかわからないとお答えになった方については、「加入していない場合」と仮定してお答えください。

- 加入したい
- 加入したくない

次へ

0

50

100(%)

Q33

雇用保険に加入したいと答えた方にお伺いします。

あなたが雇用保険に加入したいと思われる理由をお答えください。 **(いくつでも)**

- 失業給付が受けられるから
- 育児休業給付が受けられるから
- 介護休業給付が受けられるから
- 教育訓練給付が受けられるから
- 雇用が不安定と感じているから
- 生計維持のために働いているから
- その他

次へ

0

50

100(%)

Q34

雇用保険に加入したくないと答えた方にお伺いします。

あなたが雇用保険に加入したくないと思われる理由をお答えください。 (いくつでも)

- 保険料の負担があるから
- 加入するメリットがわからないから
- 加入する必要性を感じないから
- 雇用保険についてよく知らないから
- その他

次へ

0

50

100(%)

Q35

あなたはこれまでに育児休業をされたことがありますか。

- ある
- ない

次へ

0

50

100(%)

Q36

あなたはこれまでに介護休業をされたことがありますか。

- ある
- ない

次へ

0

50

100(%)

Q37_1

あなたはこれまでに自己啓発を行ったことがありますか。

※「自己啓発」とは、労働者が職業生活を継続するために行う、職業に関する能力を自発的に開発し、向上させるための活動をいいます(職業に関係ない趣味、娯楽、スポーツ健康増進等のためのものは含みません)。

- ある
- ない

次へ

0

50

100(%)

Q37_2

どのような自己啓発を行いましたか。(いくつでも)

※「自己啓発」とは、労働者が職業生活を継続するために行う、職業に関する能力を自発的に開発し、向上させるための活動をいいます(職業に関係ない趣味、娯楽、スポーツ健康増進等のためのものは含みません)。

- 専修学校、各種学校の講座の受講
- 高等専門学校、大学、大学院の講座の受講
※科目等履修生として講座を受講した場合、正規の学生として在籍した場合、どちらも含みます。
- 民間教育訓練機関(民間企業、公益法人、各種団体)の講習会、セミナーへの参加
- 公共職業能力開発施設の講座の受講
※「公共職業能力開発施設」とは、職業能力開発促進センター(ポリテクセンター)、職業能力開発大学校(ポリテクカレッジ)、都道府県立職業能力開発校等をいいます。
- 社内の自主的な勉強会、研究会への参加
- 社外の勉強会、研究会への参加
- 通信教育の受講
- ラジオ、テレビ、専門書等による自学、自習
- eラーニング(インターネット)による学習
- その他

次へ

0

50

100(%)

Q38

あなたは求職者支援制度を知っていますか。
また、これまでに求職者支援制度を利用したことがありますか。

- 知っており利用したことがある
- 知っているが利用したことはない
- 知らない

次へ

0

50

100(%)

<コロナ禍での影響について>

Q39

2020年1月以降、新型コロナウイルスのまん延によって、社会が大きく影響を受けることになりましたが、2020年1月から2021年12月までの間に、あなたは就業されていましたか。

- 就業していた
- 就業していなかった

次へ

0 50 100(%)

※以下は、2020年1月から2021年12月までの間に副業や転職などにより複数の勤務先があった場合、主な仕事(労働時間が最も長い勤め先での仕事)についてお答えください。

Q40

就業されていた方にお伺いします。

どのような就労形態(勤め先での呼称)で働かれていましたか。

- 雇われている人のうち 正社員
- 雇われている人のうち パート
- 雇われている人のうち アルバイト
- 雇われている人のうち 労働者派遣事業所の派遣社員
- 雇われている人のうち 契約社員
- 雇われている人のうち 嘱託
- 雇われている人のうち その他
- 会社などの役員
- 自営業主のうち 雇い人あり
- 自営業主のうち 雇い人なし
(個人で仕事を請け負い、いわゆるフリーランス的な働き方をする方も含まれます)
- 自家営業の手伝い
- 内職

次へ

0 50 100(%)

Q41

新型コロナウイルスのまん延によって、あなたの主な仕事にどのような影響がありましたか。 (いくつでも)

- 失業(事業所側の事情)
- 失業(労働者側の事情)
- 休業(事業所側の事情)
- 休業(労働者側の事情)
- 労働時間の短縮
- 労働時間の延長
- シフトの削減
- シフトの増加
- 在宅ワークへの切替え
- 配置転換、出向
- その他(自営業の廃業・休業を含む)
- わからない
- 影響はなかった

次へ

0

50

100(%)

Q42_1

前問でお答えいただいた主な仕事への影響によって、あなたの収入面での影響はありましたか。

- 影響があった
- 影響はなかった
- わからない

次へ

0

50

100(%)

Q42_2

収入面での影響はどの程度でしたか。

- とても減った
- やや減った
- やや増えた
- とても増えた

次へ

0

50

100(%)

Q43_1

主な仕事で休業した際、休業手当は支払われましたか。

- 支払われた
- 支払われなかった

次へ

0

50

100(%)

Q43_2

休業手当が支払われた際、勤務先企業は雇用調整助成金や緊急雇用安定助成金を利用していましたか。

- 利用していた
- 利用していない
- わからない

次へ

0

50

100(%)

Q43_3

勤務先企業から休業手当が支払われず、ご自身で休業支援金・給付金を申請されましたか。

- 申請した
- 申請していない

送信

0 50 100(%)